

# 会 則

## 第1章 総 則

第1条 本会は、名古屋市立中央看護専門学校同窓会(しらゆり会)と称する

第2条 本会の事務所は、名古屋市立中央看護専門学校内に置く

## 第2章 目的及び事業

第3条 本会は、会員相互の親睦と看護の経済性、向上のための研究の奨励と共に、母校の発展に寄与することを目的とする

第4条 本会は、前条の目的達成のために次の事業を行なう

- (1) 研究会及び講演会等の開催
- (2) 会員名簿の管理
- (3) ホームページの運営管理
- (4) 母校の発展と充実のための協力
- (5) その他、目的達成に必要な事業

## 第3章 会 員

第5条 本会の会員は、次のとおりとする

- (1) 正会員は、名古屋市立中央看護専門学校卒業者とする
- (2) 特別会員は、名古屋市立中央看護専門学校の校長及び教員とする。  
特別会員は総会への出席・本会の行う行事に参加することはできる。  
議決権はない。会費は免除する

第6条 本会の事務所に会員名簿を備え、次の事項を登録する

- (1) 氏名、卒業回生
- (2) 現住所、勤務先及びその住所
- (3) 改姓、改名

第7条 会員は死亡時をもって、退会とする

本会の会員は第6条(2)(3)及び第7条が生じた時は、遅滞なくその旨を本会に届け出なければならない。用紙は別におく。

第8条 会員は、会費を納める義務を負う。会費は終身会費とし、会費は返金しない

ただし 閉校にむけ令和2年度から令和6年度は会費の徴収をせず会員とする

## 第4章 役 員

第9条 本会は、次の役員を置く

- (1) 会 長 1 名
- (2) 副会長 1 名
- (3) 会計 1 名
- (4) 会計監査 2 名
- (5) 書記 1 名
- (6) クラス幹事 各 2 名

第 10 条 役員は、会員の中から選出し総会で承認を受ける

第 11 条 役員の任務は、次のとおりとする

- (1) 会長は、会務を統括し議長を兼ね、本会を代表する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故ある時は、その職務を代行する
- (3) 会計は、本会の会計にあたる
- (4) 会計監査は、本会の会計を監査する
- (5) 書記は本会の会議において事務全般を行う
- (6) クラス幹事は、同級生相互の連絡事務及び、総会時運営に協力する

第 12 条 役員の任期は、3年とする。ただし、再選は妨げない

第 13 条 役員に欠員が生じた場合は、会員の中より会長がこれを任命することができる  
ただし、補欠役員の任期は、前任者の残任期間とする

第 14 条 役員は、総会をもって、任期満了とする

## 第5章 会 議

第15条 会議は、総会（臨時総会を含む）、役員会とする。会長がこれを招集する

第 16 条 会議について

- (1) 総会は、3年に1回開催する
- (2) 臨時総会は、役員会が必要と認めたときいつでも招集することができる
- (3) 総会の議決は、原則として出席会員の2分の1以上の同意をもって決定するものとする

第 17 条 役員会は、第9条の役員をもって構成し、第4条に定める事業、その他必要な事項について審議する

第 18 条 総会で議決する事項は、次のとおりとする。

- (1) 事業報告ならびに会計報告
- (2) 会則の改正
- (3) 役員の改選
- (4) 重要議案の審議
- (5) その他会則に定める事項及び会長が必要と認めた事項

## 第6章 会 計

第 19 条 本会の運営に必要な経費は、入会金及び寄付金又は補助金、その他の収入を持ってこれに充てる

第 20 条 本会の会員は、入会と同時に会費 2,000 円を納入するものとする

第 21 条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月 31 日に終わるものとする

附 則

この会則は、昭和 56 年 11 月 15 日より施行する

この会則は、平成 26 年 6 月 21 日 改正する

この会則は、令和 5 年 11 月 12 日 改正する